

基調講演は国立病院機構埼玉病院院長 関塚永一先生より「第三者評価(病院外・病院間・病院内)を利用した病院マネジメント～熱き思いとシステムで、医療の質向上基盤を強化する～」と題し、笑顔の元気な挨拶から埼玉病院の取り組みを講演いただきました。教育講演では、茨城県がん地域医療を考える会 佐藤好威先生と横地 真知子先生より「がんサロンの各病院における展開と今後(患者の立場から)」について講演いただきました。パネルディスカッションでは「地域における医療連携」をテーマに大腿骨骨折地域連携クリティカルパス、医療安全、感染防止対策についてディスカッションを行いました。一般演題は「防災」「医療安全」「医療の質」「薬剤管理」「病院運営」の面からの発表でした。

開催にあたり、会場の確保から1年前より準備を進めてきました。不慣れなため、抄録集の編集が遅れたり、発表データ容量が多くて受け取り出来なかったりと、当日まで波乱万丈でしたが、皆様のご理解とご協力のお陰で、混乱することなく時間通りに運営できましたことは、ご参加いただいた皆様のご理解とご協力の賜だと深く感謝申し上げます。

第13回鳥取県支部学術集会

学術集会会長：鳥取市立病院病院長 早田俊司



会場風景

「地域医療マネジメント」をメインテーマに基調講演、ランチョンセミナー、パネルディスカッション、一般演題37題(口演16、ポスター21)のプログラムで開催し、120名の方にご参加いただきました。

基調講演は鳥取県福祉保健部健康医療局長の藤井秀樹先生に「鳥取県における地域医療構想」について、ランチョンセミナーは鳥取市立病院薬剤部の滝田敬子先生に「がん薬物療法における曝露対策」についてご講演いただきました。パネルディスカッションは「地域包括ケアシステム」をテーマに多職種6名の方に実践報告をいただき、その後全体討論を行いました。

一般演題も含め、今後の地域医療の在り方について活発なディスカッションが行われるなど大変有意義な学術集会となりました。

最後になりますが、本学術集会の開催にあたりご支援・ご協力をいただきました方々、ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

第15回九州・山口連合大会

会長：佐賀大学医学部附属病院前病院長/

胸部・心臓血管外科学教授 森田茂樹



会場風景

2016年9月16日(金)、17日(土)の両日、日本医療マネジメント学会第15回九州・山口連合大会を佐賀市文化会館で開催いたしました。今回はテーマとして「医療

の質をマネージする」を掲げました。医療の質を維持・向上させるための取り組みや問題点を討議するための講演やシンポジウムをメイン会場で行いました。講演や演題あわせて201題をいただき、716名の参加を賜りました。参加者の皆さま、連合大会を開催する上で物心ともに支援していただきました皆さまに心から御礼申し上げます。

メイン会場では宮崎理事長の基調講演に続き、「診療録とデータベースでみる医療の質」「医療の質・患者安全の向上を目指して」「医療安全」「電子クリティカルパスの現状と課題」「医療の質をマネージする」「2025年へのカウントダウン」「医療の質向上への取り組み」「より良い医療のために行政ができること」というサブテーマの下に各界のリーダーの方々や現場のエキスパートの発言が続き、厳しい病院の経営環境の下でいかに医療の質を維持・向上させるかという観点から今後に繋がる情報の共有ができたのではないかと考えています。連合大会の運営に関しては行き届かないところが多々あったかとは思いますが、皆様のご協力のもと有意義な会を開催することができました。あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

第15回東北連合会 第7回福島支部学術集会

学術集会会長：一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院副院長 山崎 繁



会場風景

2016年9月17日(土)、郡山市の郡山市民文化センター中ホールにおいて、第15回東北連合会、第7回福島支部学術集会を開催いた

しました。「新しい医療制度改革への取り組み～医療機関に求められる役割とは～」をテーマに東北各県から約